



編集後記

思えば2016年9月号より、それまで公開して来た「ビジネスモデル学会論文誌」を発展的に「BMA ジャーナル」として名称変更するとともに、研究論文を発表するのはもちろん、コンセプトや内容構成なども大きくリニューアルした日本唯一のビジネスモデル総合誌(季刊誌)として、再スタートさせて頂き、本号をもって4号目の公開となり、早くも1年間経ちました。

平野会長をはじめ、当学会新体制の方針に沿い、学会誌の新しいスタイルを目指そうとする中、企画、取材、寄稿、査読、指導、編集、周知など、学会内外に様々なご教示、ご配慮、ご提案、ご協力などを下さった多くの方々に対し、心より御礼を申し上げます。今後も一層、本誌の編集に当たり、学術性、多様性、学際性に留意して参りたい、と思っております。

学会として、しかも日本学術会議指定協力学術研究団体として、「学術性」を追求するのは責務でもありますが、アカデミアや各方面の多彩な実務家などによる「多様性」を持った「活きる研究」こそ、よりビジネスモデル論の在り方が立体的に見えてくると考えられます。また、今日的課題の創造的解決に分野横断的に取り組むのに「学際性」を踏まえたアプローチが重要でしょう。

昨今、「第四次産業革命」の流れが生まれてきたと言われていています。ビックデータやIoT、AIなど、その実用化や普及が強く期待されている中、新たなビジネスモデルはどのように創出されるのか、激動する時代の流れはどのように続いていくのか、読者の方々と共に連携して探索し続けて行きます。みなさま、今後ともぜひご愛顧ご意見のほど、よろしくお願い申し上げます。

編集委員会を代表して 張 輝